

災害ボランティアのチカラ 被災地支援の取り組みを紹介します！

東日本大震災から1年が経ちました。3月11日以降、多くのボランティアが被災地で活動を行っていますが、時間とともにボランティア活動の内容は変わってきています。

テレビや新聞等で目にした災害ボランティアの多くは瓦礫の撤去、泥かきでした。しかし、現地のニーズはそれだけではありません。今回の学習会では、日頃からの活動のつながりや経験を被災地にいかした取り組みをご紹介します、あらためてボランティアのチカラを学びます。

日時：3月23日(金) 18:30～20:30

会場：千代田区社会福祉協議会 6階 【定員：30名】【参加費：無料】

- 講師：
- さんだんぼしり
三反走仮設住宅の方々と一緒に
『いしのまき地ビール』づくりで交流を図る
ハッタケンタローさん(アースデイ東京タワー・ボランティアセンター)
 - 阪神淡路大震災を教訓に孤独死を防ぐ活動
「パラソル喫茶」を展開する
牧野史子さん(介護者サポートネットワークセンター・アラジン 理事長)
 - 『いわてを走る移動図書館プロジェクト』をバックヤードで支える
笠井俊一さん(シャンティ国際ボランティア会 緊急救援担当)



<石巻市河北地区で借りた畑(3反)にて>



<ひびき仮設住宅でのパラソル喫茶>



<移動図書館での様子 撮影:高橋智史>



【申込み・問合せ】千代田区社会福祉協議会 ちよだボランティアセンター
〒101-0065千代田区西神田1-3-4
TEL: 03-5282-3716 FAX: 03-5282-3718
Email: volunteer@chiyoda-cosw.or.jp
ちよだ社協創立60周年・法人化50周年

講師紹介



アースデイ東京タワー・ボランティアセンター ハッタケンタロー さん
「エコアクションをメジャーゲームに！エコムーブメントをデザインする」合い言葉に、トージバやアースデイマネーなどNPO活動や打ち水大作戦や種まき大作戦、アースデイマーケット、土と平和の祭典などソーシャルイベントの企画・運営・デザインまで関わってきました。311 東日本大震災ではその翌週、東京タワーに災害支援ボランティアセンター『アースデイ東京タワー』を立ち上げ、現在も東北や福島の支援活動を行っています。



NPO 法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン 理事長 牧野史子さん
1995年西宮市在住中に阪神大震災に遭い、仮設住宅高齢者を支援する様々な活動を展開する。2001年帰郷し、“介護者の孤立”問題に取り組む組織「介護者サポートネットワークセンター・アラジン」を立ち上げる。以来震災後のコミュニティづくりをベースに、介護者を支援する地域の仕組み作りを提唱、実践している。



シャンティ国際ボランティア会 緊急救援担当 笠井俊一さん
NTT データ東北で働く一方で、NTT 労働組合が行う社会貢献活動の児童労働の撲滅、三宅島の被災者支援、砂漠緑化、平和活動に関わる。NPO サポートセンター NPO スタッフ養成研修を経て、シャンティ国際ボランティア会（SVA）に入職。現在はSVA 岩手事務所、SVA 気仙沼事務所のバックヤードとして、東日本大震災被災者支援の緊急救援を担当している。

FAXにてご返送ください(FAX:03-5282-3718)

災害ボランティアセンター学習会第11弾

『災害ボランティアのチカラ 被災地支援の取り組みを紹介します!』

参加申込書

ご所属 _____

お名前 _____

ご連絡先（電話・メール） _____

○一緒に参加される方のお名前

<お申込みありがとうございました>